

看護小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	コンフォートライフ 合同会社	代表者	代表社員 松田 宇善	法人・ 事業所 の特徴	住み慣れた地域で「安心と尊厳のある生活」生活支援を目指す。地域住民すべてに充実したケアを提供することにより、安心して心地よい生活ができる老後が送れるようサポートする。また地域に根ざしたサービスを心がけサービスの充実、質の向上を図り、地域の活性化に貢献する。また場面場面で本来の家庭的サービスを提供する。ほっと一息（ひといき）ぬくもりのあるやかた～一日十笑～を介護理念に掲げ支援させて頂いております。
事業所名	看護小規模多機能 ホームやかた	管理者	管理者 松田 宇善		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	2人	1人	2人	1人	1人	0人	0人	3人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	改善計画を一人ひとりに浸透させ、チーム全体で包括的な視点を持つことで、今後のスキルアップを目指していく。	一人一人が包括的な視点を持つことが難しい。ただし役割分担があることからチームとしてはうまくいっていることがあげられる。	感染症の影響もあり実際に施設内を見学したことがないので評価が難しいことも事実。次年度は実際に見学するように計画する	人員体制が整わない中でも、ミーティングの時間を取って意見交換や情報共有ができるよう、業務内容や時間の使い方を工夫していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	今後も施設内の設備・備品の点検を定期的に行い故障や不具合・汚れ等がないように維持し、感染対策等含め配慮しながら、居心地が良い環境作りを継続していく。	現在 14 期目で様々な箇所が破損確認されているが利用者に不便がないように気を配っている。感染症も確認されておらず継続して行っていきたい	経年劣化と老朽化は仕方のないことであり利用者に事故がないようにこれからも配慮をお願いしたいと思います。	今後も施設内の設備・備品の点検を定期的に行い故障や不具合・汚れ等がないように維持し、感染対策等含め配慮しながら、居心地が良い環境作りを継続していく。
C. 事業所と地域のかかわり	引き続き地域作りに向けて認知症サポーター養成講座を行い、事業者が地域住民との公共の場になるように取り組んでいく	今年度 2 回小学校に出向き認知症養成サポーター講座研修行った。	今後も継続して認知症サポーター養成講座を行ってほしいと思います。	引き続き地域作りに向けて認知症サポーター養成講座を行い、事業者が地域住民との公共の場になるように取り組んでいく
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域のある資源を柔軟多角的に収集し、ボランティアや住民活動などのインフォーマル活動や多様な社会資源を活用できるようにする。	地域内のイベントには積極的に参加しているが資源についてはまだ把握しきれない部分があるので施設内で研修が必要		利用者の家族との交流を積極的に行い、行事の参加や外出支援に繋げていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議の中で頂いた意見を参考にしながら、地域との交流を大切にした社会参加を行っていき柔軟できめ細やかな運営を目指していく。	運営推進会議のみならず玄関で意見箱を設置して利用者家族、地域住民から意見を頂戴している。		運営推進会議の中で地域で困っている方や支援が必要な方を紹介してもらい支援を行うなど地域に貢献する
F. 事業所の防災・災害対策	消防訓練開催のお知らせを行い、状況によって地域の方へ消火訓練等可能な訓練参加を呼び掛ける。	運営推進会議を利用しながら避難訓練の呼びかけを行い施設内において消防避難訓練を行った。	今年度は避難訓練に参加できなかったことから次年度は参加したいと思う。	次年度は避難訓練に地域住民が参加できるよう声掛けを行う

